



内閣府（防災担当）

## 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会（第14回） 議事概要について

### 1. 検討会の概要

日 時：令和元年9月25日（水） 13:00～15:00

場 所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：佐竹座長、岡村委員、平川委員、平田委員、松澤委員、翠川委員

### 2. 議事概要

事務局から検討状況の説明を行い、千島海溝から日本海溝の岩手県沖までの領域で発生する最大クラスの津波の設定等について審議を行った。概要は、次のとおり。

- 日本海溝の北側の領域については、津波堆積物調査の結果では千島海溝と同様に12～13世紀、17世紀ごろに巨大地震が発生していたと想定されるため、切迫性が高いとされている千島海溝と同様に、最大クラスの地震の発生の可能性がある。
- 津波断層モデルの検討において、津波堆積物調査からその場所に津波が来たことがないということの証明を行うのは難しいが、そのような記録があるか確認しておくべき。
- 強震断層モデルの検討において、東北地方太平洋沖地震の強震動生成域を参考にして、岩手県沖にも強震動生成域を配置するのが望ましい。
- 断層モデルについて概ね考え方の整理はできたため、本日の委員からの意見について事務局で整理し、津波や地震動の計算について作業を進める。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

調査・企画担当企画官 古市 秀徳

同参事官補佐 久保 剛太

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-6820